

検討会について考える

「みんなでディスカッション！
経験の共有！スキルアップ！」

自分の考えに固執してしまうことがありましたが、この「症例検討会」を通じて、他の薬剤師や医師の意見を聞くことができるので、幅広い考えが生まれます。訪問診療などで医師と同席した時に、医師に対してよりよい提案ができるようになりました。



薬局事業部 主任 / 森ノ宮店 薬剤師 杉田 康さん

みんなでディスカッションすることが大事です。患者様にとって、薬物治療のバリエーションが増えます。1人では偏った考えになってしまうことも多かったのですが、医師でもある狭間先生からのアドバイスもあり、多角的な視点で治療プランを立てられることは非常に大きいです。



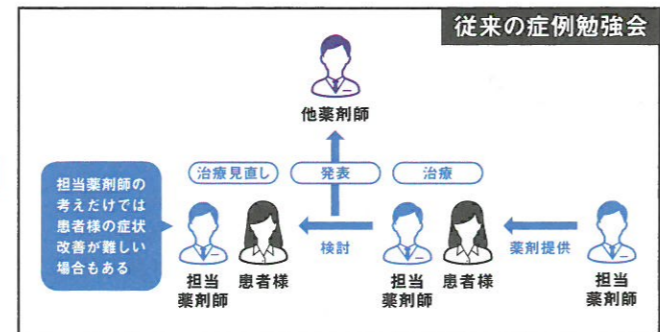
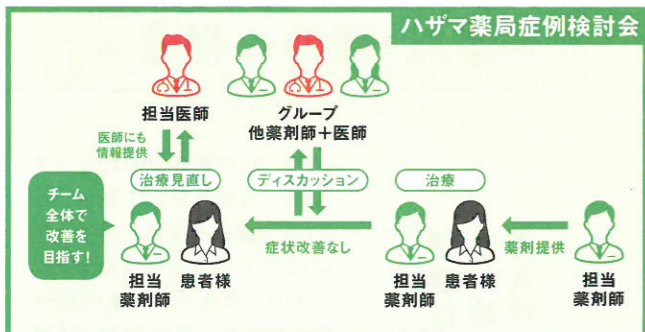
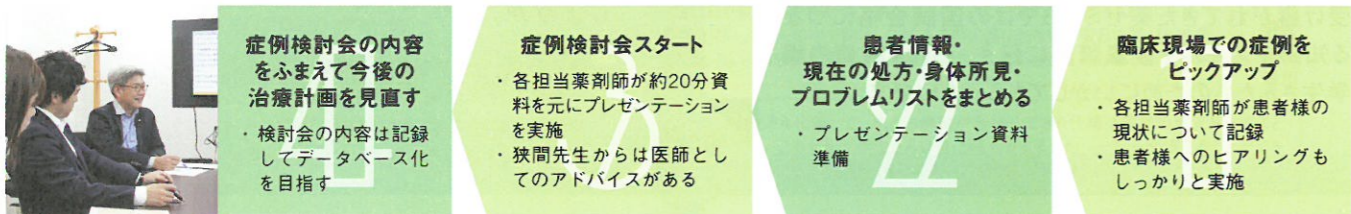
薬局事業部 主任 / 門真店 薬剤師 山本 康平さん

大学では薬剤師としての知識や理屈は勉強できますが、実際の臨床現場に立った時には経験が大事です。先輩薬剤師や医師の経験を共有することで、薬剤師として大きく成長できていると思います。



森ノ宮店 薬剤師 橋本 倫季さん

【 症例検討会の流れ 】



本社：大阪市北区天神橋1-9-5
山西屋・西孫ビル2F・3F
TEL：06-4801-9555
創業：昭和51年
設立：平成10年9月
代表者：代表取締役社長 狭間研至
代表取締役会長：狭間紀代
従業員：142名
(内 医師1名、薬剤師51名)
※平成30年3月現在



病気の診断と治療については、医師を中心に行われますが、薬剤師もより深く、患者様の症状について考えなければなりません。医療チームとも連携をとり検査結果にも目を配り、薬のメリットやデメリットもふまえて、薬学的なアドバイスを提供することが大切です。「症例検討会」を通じて、現場での生きた経験を共有し、勉強を重ねることで、医療人として幅広いフィールドで活躍できる人材が育つことを願っています。

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 / 医師・医学博士 狭間 研至先生

より選ばれる薬局を目指して
医師と薬剤師が協力する現場

症例検討会からつながる
患者様へのさらなるケア



学生時代の勉強とは違い、実際の臨床現場ではさまざまなことが起こります。大阪のファルメディコ株式会社(ハザマ薬局)では日々薬局で起きたことや情報を共有するために症例検討会を定期的で開催しています。この検討会は医師であり、同社の代表取締役でもある狭間研至先生も交えて行うことで、より質の高い医療の提供が可能となりました。

Text & Photographer: Yuichi Ohki



今回の症例検討会 参加メンバー

ハザマ薬局では、薬剤師だけでなく、医師である狭間先生も含め、患者様の治療計画の考察と見直しなどを検討しています。7店舗の全スタッフが忙しく難しいため、少人数制の「症例検討会」を月に1回実施しています。この検討会では実際の臨床現場で起こっていることについて、ディスカッションし、次の治療計画に役立てています。検討会に医師が加わることで、知識やアイデアの幅も一気に深まります。現場でのコミュニケーションの取り方についてもアドバイスがあるので、医師との関係構築にもよい影響があります。

また、参加できない薬剤師のために「症例検討会」のレポートと動画などを共有し、薬局全体でも情報を閲覧できるようにしていく予定です。